

2025 聖年 神よ、あなたは私の希望 12 月 28 日に浦上教会で閉幕ミサ



2024 年 12 月に開幕した、25 年に一度の通常聖年が残り、ところ 1 ヵ月となった。
「希望の巡礼者」をテーマに全世界の教会がともに過ごしてきたこの聖年の期間は、バチカンで 2026 年 1 月 6 日に、世界各地の教区で 25 年 12 月 28 日に閉幕ミサが行われ終了する。長崎教区においては、12 月 28 日 (日) 14 時から、司教座聖堂である浦上教会で「聖年閉幕ミサ」を行う。多くの人々の参加を願う。
ちょうど 1 年前、本紙 2024 年 12 月号で中村倫明大司教は紙面を通して次のように伝えている。

「『希望は欺かない』二〇二五年の通常聖年公布の大勅書」には、戦争・暴力・差別・出生率の低下・拘留・死刑・病者・若者・移住者・難民・高齢者・貧しい人々や国などの問題を掲げ、それらに希望のしるしを差し出すように呼びかけています。
ここ長崎の教会も、司教座聖堂で減少・信徒減少・教区費減少などの課題を抱えて、将来には希望がないかのように嘆き諦めかけているかもしれません。どうぞ、主がともにおられる限り希望があること、主こそ希望であることを、今こそ、人々に声をかけ、ともに参加し、希望をもって語り合い、人々と交わりながら、人々にしっかりと伝えていく聖年といえましょう。

この聖年の期間中、殉教祭や記念ミサ、修道会や関係各所のさまざまな節目、教区諸委員会や諸団体が主催する集いはもちろんのこと、さまざまな出来事があった。今年 1 月、教区法人事務所や教区本部事務局などがカトリックセンターから大司教館へ移転。3 月 17 日には日本の信徒発見 160 周年を迎え、同 20 日には 4 年ぶりに新司教が誕生した。
復活の主日の翌 4 月 21 日には第 266 代教皇フランシスコが逝去され、5 月 8 日に第 267 代教皇レオ 14 世が選出された。
6 月、教区の 25 巡礼指定教会すべてを 3 月までに訪ね終えた最初の信徒らに認定書が渡された。原爆投下から 80 年の今年、米国のカトリック信徒らから浦上教会へ鐘が寄贈され、8 月 9 日に平和の音を響かせた。9 月、教区の公式巡礼団がローマ・アッシジ・ルルドを巡礼。12 月 14 日には日本にキリスト教を伝えたフランシスコ・ザビエルを記念するミサが平戸で行われる。免償をはじめとする聖年の恵みに感謝し、残るひと月を過ごそう。



カトリック長崎大司教区
広報委員会
〒852-8114
長崎市橋口町 1-1
長崎大司教館内
Tel. 095-843-3869
Fax 095-842-4460
振替口座 01880-5-2699
発行人
山田 良 秋
印刷所
株式会社 インテックス

修道会に関するお知らせ

長崎市上野町にある師イエズス修道女会長崎修道院と典礼センタービエタは、設立以来 50 年にわたり長崎で宣教を続けてこられたが、このほど典礼センターは今年 12 月末日をもって、長崎修道院は来年 3 月をめぐりに閉鎖することとなった。

平和作文コンクール結果

12 月 28 日の聖年閉幕ミサで表彰

2025 聖年、被爆・終戦 80 年の今年、長崎大司教区は教区所属のカトリック信徒および求道者の小中高生を対象に「平和作文コンクール」を実施した(本紙 8 月 10 月号案内)。寄せられた作文は、小学生 119 人、中学生 18 人、高校生 3 人の合計 140 作品で、10 月 28 日 (火) に大司教館で審査が行われた。結果は左記の通り。最優秀賞は小・中・高の各部門から 1 人ずつ選ばれ、優秀賞は 7 人、特別賞は 1 人だった。表彰式は 12 月 28 日 (日) 14 時から浦上教会での「聖年閉幕ミサ」の中で行われる。

小学 1・2 年生の作品

▼子どもたちが自分のこととして平和について考えていることが伝わってきて、とても感動しました。
▼戦争の悲惨さから目を背けず、しっかりと向き合い、平和を生きる決意に感動しました。どれも素晴らしい作品でした。

小学 5・6 年生の作品

▼永井隆先生は戦争を人類全体の過ちとして受け止め、誰かを責めるといったことがありませんでした。そして命が尽きるまで常に祈りながら自分にできることをと。今回、子どもたちも今の自分にできることをと、一生懸命に考えたことと神さまに委ねて願うことを、上手に歴史と今をつなげて書かれた作文がたくさんありました。平和の懸け橋として働く頼もしい若者がたくさん誕生する予感がしてうれしく思いました。

小学 3・4 年生の作品

▼身のまわりで体験したことと神さまに委ねて願うことを、上手に歴史と今をつなげて書かれた作文がたくさんありました。平和の懸け橋として働く頼もしい若者がたくさん誕生する予感がしてうれしく思いました。

核なき世界基金

被爆地からのチャレンジ
みんなで
いのちと地球を守ろう！
<https://nuclear-free.net/>

ほしかげ

昨年のクリスマス夜の、ウィーン少年合唱団のクリスマスソングがテレビで放送されていた。とても透き通った清らかな歌声、その曲はカトリック聖歌 102「ノ闌路に悩めるエワの子われらは救いのみ光 慕いてさまよう」待降節の曲だった。▲日暮れが早くなり、夜は長く、光が恋しくなる季節。待降節に入り、教会に飾られたイルミネーションが、主のご降誕を待ちわびる心を温かく包む。▲今年、私たちは聖年の恵みの年を過ごしている。聖年のお恵みはいつでも頂けるような気がしていたが、間もなく閉幕しようとしている。よく考えると、次の通常聖年は 25 年後、その年を迎えられるかどうかは定かではない。今この時に、しっかりと恵みにあずかっておきたい。▲同時に、被爆 80 年の年も終わろうとしている。当時の体験者は年々少なくなっており、生の声を聞くことは難しくなっている。これからの活動の在り方が問われている。そんな折、教区シノドス文化部の呼びかけにより、子どもたちの平和作文コンクールが行われた。その作文には、彼らの純粋な平和の継承者としての決意が、つづられていて、未来へと希望をつないでいる。▲「聖年の恵みによって、希望の巡礼者であるわたしたちのうちに、天の宝へのあこがれが呼び覚まされ、あがない主の喜びと平和が全世界に行き渡りますように」(聖年の祈り) (秋)

2024 年 12 月 29 日浦上教会での閉幕ミサ。
中村大司教によって扉が開かれた。



大浦天主堂キリシタン博物館 企画展 「聖年 希望の巡礼者」

会 期 2025 年 11 月 4 日 (火) から
2026 年 1 月 31 日 (土) まで
場 所 大浦天主堂キリシタン博物館
旧大司教館 2 階 企画展示室
入 場 料 大人 千円、中高生 400 円、
小学生 300 円

※大浦天主堂拝観料に含まれます。長崎大司教区信徒カードをお持ちの方は無料。

詳細は、同博物館が各小教区にお届けしているポスターなどのご案内をご確認ください。

2025 年長崎大司教区 平和作文コンクール受賞作品

最優秀賞

被爆 80 年。今できる事。 片山愛理 さん (小 3、諫早教会)
神様の愛のうちに生きる 竹中真理 さん (中 3、浦上教会)
命の尊さと平和の重みを感じて 下田佳依 さん (高 3、水主町教会)

優秀賞

へいわについて 富浦ひかり さん (小 1、水主町教会)

ひばくいこうめぐりとへいわきがんさい 岩崎暁文 さん (小 2、神ノ島教会)

わたしへのよびかけ 私市こひろ さん (小 4、滑石教会)

戦争についての自分の決意 田川菜音 さん (小 5、田平教会)

「永井隆先生」が伝えたかったこと 木口夏綺 さん (小 6、浦頭教会)

平和への決意 中島ひなた さん (中 2、水主町教会)

平和実行委員会を通して 山口陽子 さん (中 3、香焼教会)

特別賞

アンジェラスのかね 永瀬 榛 さん (中 2、深堀教会)

真手ノ浦小教区設立 50周年記念ミサと祝賀会

10月13日(月)、真手ノ浦小教区設立50周年記念ミサと祝賀会が行われた。真手ノ浦小教区は真手ノ浦・焼崎・猪ノ浦の3教会。3教会は当初、桐小教区と大曾小教区の巡回教会であったが、1975年に3教会による小教区編成がなされた。記念ミサのため中村倫明大司教に来島していた。歴代の主任司祭、上五島地区各教会の主任司祭、そして約150人の信徒が参加した。説教において中村大司教は前列に座っていた大曾小教区の評議会議長の手伝いを借りつつ、早く走るためのトレーニング方法を紹介します、私たちが愛を実践していく上でのコツへとお話をうかがった。



祝賀会は近くのホテルへ会場を移し行われ、乾杯のあいさつで山口竜太郎主任司祭は「今日は何



のお祝いなのか。それは私たちの間にいつもイエス様が共にいてくださったことであり、これから私たちの間にイエス様が新たにする時です」と述べ、祝宴が始まった。

大浦教会献堂50周年 記念ミサと堅信式

11月3日(月)、大浦教会(主任・大水文隆師)で教会献堂50周年の記念



ミサと堅信式が行われた。中村倫明大司教と3人の出身司祭をはじめ、歴代の主任・助任司祭、長崎南地区司祭20人の共同司式で行われたミサには、130人余りが参加した。恵みの節目を感謝するとともに、大人1人を含む3人の受堅者のために祈った。



ミサの終わりの感謝式で受堅者を代表してあいさつした浜端律気さん(中2)は、戦後80年を迎えながらも平和とは言えない状況に触れ、「今こうして生きて

温かいご飯を食べられること、大好きな野球を楽しくできることは、当たり前ではなく奇跡です。だからこそ、今を大事にして、ありがたうと言葉で伝え、感謝することを大切に生きていきたい」と決意を述べた。

マキさんの足跡を訪ねて

10月に鶴島巡礼 ― お告げのマリア修道会

今年も、岡山県で行われる「第54回鶴島巡礼」に参加するために、私たち24人は、10月12日(日)午前9時半に貸し切りバスで長崎港を出発しました。シスター11人、事業所の職員2人の私たちの呼びかけに応えた



「まごころ会」会員10人、一般の方1人でした。今年の鶴島巡礼は広島教区の聖年協賛行事と位置づけられていました。13日(月)日生港に集まったのは、白浜満司教様、司祭、信徒、修道者などおよそ150人でした。海上タクシーに乗り込み、40分ほどで鶴島に到着しました。船が動き出すと同時にベトナム人の皆さんがロザリオを始めたので、私もともに祈ることができました。

障害者のための黙想会 12/21さくらの里で実施

このたび、教区福祉委員会におきまして、普段の小教区における黙想会に参加が難しい方々のための黙想会を企画しました。ゆるしの秘跡も個別対応で行います。聖年のお恵みとともに分かち合いましょう。(福祉委員長 宮原大地)

障害がある方々のための黙想会

日時 2025年12月21日(日) 10時〜16時
会場 さくらの里聖家族教会(長崎市)

指導司祭 瀬戸高志師
(レズンブートル会、愛宕教会主任司祭)

参加費 千円(介助の方もお預かりします)
※昼食は各自ご持参ください。

お問い合わせはカトリック黒崎教会(Tel 0959・25・0007)、本田神父まで。さくらの里聖家族教会へのお問い合わせは「遠慮ください」。

人事異動・任命

(「」は備考など)

▼聖アウグスチノ修道会(10月10日付)
(フィリピン・セブ管区から派遣)
クリスチャン・フンタナレス師 城山助任
ジャン・マーク・プラシド師 城山助任

*お二人は、今年12月に名古屋へ異動する予定。

お知らせ

お告げのマリア修道会

今年もカトリック岡山教会の皆様のおかげで岩永マキさんの足跡を訪ねることができ、14日(火)には無事長崎に帰り着きました。心より感謝いたします。

今年もカトリック岡山教会の皆様のおかげで岩永マキさんの足跡を訪ねることができ、14日(火)には無事長崎に帰り着きました。心より感謝いたします。

今年もカトリック岡山教会の皆様のおかげで岩永マキさんの足跡を訪ねることができ、14日(火)には無事長崎に帰り着きました。心より感謝いたします。

今年もカトリック岡山教会の皆様のおかげで岩永マキさんの足跡を訪ねることができ、14日(火)には無事長崎に帰り着きました。心より感謝いたします。

今年もカトリック岡山教会の皆様のおかげで岩永マキさんの足跡を訪ねることができ、14日(火)には無事長崎に帰り着きました。心より感謝いたします。

小学生5人が体験入学

1泊2日 ― 長崎カトリック神学院

10月25日(土)から26日(日)までの日程で、長崎カトリック神学院小神学校(小神学院)における体験入学が実施されました。今回は大崎教会から5人の方にご参加いただきました。小神学院の4人の小神学生と共に、神学校の生活を深く体験する機会となりました。初日の午後は、体育館



でソフトバレーやバスケットボールを楽しみ、参加者と小神学生の間で和やかな雰囲気の中、交流しました。晩の祈り(教会の祈り)を共にした後、は、お待ちかねのバーベキューで親睦を深めました。豊かな食事を共にしながら、参加者同士、また小神学生と心を通わせ、実り多い時間を過ごしました。その後、分かち合いの時間をもち、お互いに召命について深く考え、語り合う貴重なひとときとなりました。2日目の午前中には、小神学生によるプレゼンテーションが行われました。

このたびの体験入学の実施にあたり、各小教区の神父様方には多大なるご協力とご配慮を賜りまして、心より感謝申し上げます。そして、親愛なる信徒の皆様におかれましては、未来の司祭となる若者たちの召命のために、引き続き温かいお祈りをささげていただけますよう、伏してお祈り申し上げます。

長崎カトリック神学院
院長 ナム・シジン

相続登記はお済みですか

土地・建物・会社・法人の登記手続 相続手続
遺言書の作成 相続土地の国庫帰属手続 など
まずは、お電話を!!

司法書士 行政書士 山下 緑 事務所

ミカエル 山下 緑

〒854-0014 諫早市東小路町10-21 電話 0957-22-6177

マイホームの美容と健康に!

(有) 山 川 塗 装

有限責任中間法人 全国住宅火災防止協会
長崎県建物営繕工事業協同組合理事

代表取締役 ペトロ 山川 進

佐世保市原分町1715-5
TEL(0956)49-3330 FAX(0956)49-8729



カリス通信

12月号

「カトリック司祭・修道会 医療費用共済制度」
「カトリック介護補償制度」のご紹介

各教区・修道会の聖職者の皆様を対象に、相互扶助の精神に基づいた互助制度「カトリック司祭・修道会 医療費用共済制度」および「カトリック介護補償制度」をご紹介します。

＜カトリック司祭・修道会 医療費用共済制度＞

●本制度の特長
司祭、修道士、修道女、神学生等に対し、別途定める「カトリック共済制度災害補償規定」に基づき、災害発生時に見舞金を給付します。
●対象: 教区、修道会、在俗会、宣教会に在籍される司教、司祭、助祭、修道士、修道女、神学生等。
●加入: 各教区、修道会等の在籍組織単位で一括加入。
●お支払する見舞金
・葬祭費用見舞金: 死亡時に、教区、修道会や遺族が葬式・祭祀に要した実費を給付(年齢による限度額を補償)。
・傷害治療見舞金: ケガによる後遺障害の程度、ケガによる入院期間、通院期間に応じて見舞金を給付。
・疾病治療見舞金: 病気による入院時に、入院期間に応じて見舞金を給付。

＜カトリック介護補償制度＞

※本制度は「カトリック司祭・修道会医療費用共済制度」へご加入の方のみご契約いただけます。
※新規ご加入の方におかれましては、「健康状態告知書」への告知内容の結果、本制度にご加入いただけない場合がございます。

●本制度の特長
業務に従事するカトリック聖職者に対し、介護費用を広く補償します。
●対象: 教区、修道会に所属する司教、司祭、助祭、修道士、修道女、神学生等。
●加入: 教区、修道会毎に全員加入(任意でのご加入はできません)。
●お支払する保険金
・介護補償保険金: 保険期間中に公的介護保険制度に基づく要介護3以上の認定を受けた状態となった場合、または公的介護保険制度の要介護3以上に相当する状態であることを医師等に診断され、その状態が90日間を超えて継続した場合に、保険金(一時金)を給付。
※本ご案内は「カトリック司祭・修道会医療費用共済制度」と「カトリック介護補償制度」についてご紹介したものです。制度の内容はパンフレットをご覧ください。詳細は契約者である団体の代表の方に御渡してあります保険約款によりませんが、ご不明の点がありましたらカリスまでお問い合わせください。

私たちが、大澤阿紀子 大西 晃 毛利玲子
お守りします。服部秀昭 川口 薫神父(顧問)



カトリック共済システム 有限会社 カリス 連絡先 ☎ 0120-77-0033

カトリック共済システム 検索 25TC-003319 (2025年10月作成) 引受保険会社: 東京海上日動火災保険株式会社

リスク・補償に関して
お気軽に
お問い合わせください

セバスチャン木村司祭と 204 殉教者をたたえて

西坂にレリーフ設置、除幕式行われる



10月26日(日) 14時、西坂公園で「福者セバスチャン木村司祭と204殉教者」を記念するブロンズレリーフの除幕式が、長崎大司教区主催、イエズス会本部と日本二十六聖人記念館共催により行われ、集まった司祭・修道者・信徒、一般市民を含む約100人がレリーフの設置と除幕を祝った。

関係者、また市民の方々、すべての参加者に向けて感謝の言葉を述べた。式中の講話では、デ・ルカ・レンゾ師(イエズス会、日本二十六聖人記念館館長)が、ヨーロッパ人以外で世界で初めて司祭になったのはセバスチャン木村だったと思われ、このことに触れ、次のように続けた。

「(このことは)教会の歴史としては本当に大きなワンステップでした。400年前、宣教師たちが来て地元の人たちが洗礼を受けたとしても、その後のことは、世界の教会の歴史を変えたと言っても大げさではないのです」

そして、「今ほどの国の人であつても司祭の召し出しがあり、ふさわしい準備をすれば司祭になれるのは当たり前だが、400年前は当たり前前ではなかった」と言及。205人の殉教者たちの呼称についても、代表する人物の名前を記すことで「セバスチャン木村と同志殉教者」が人々に知られ定着していくよう意識の高まりを願った。



レンゾ師は最後に、「セバスチャン木村が地元、つまり日本の召し出しであつたように、これからも日本で司祭への召し出し、

福者カミロ神父殉教祭

天候不良のため田平教会で開催

写真 1枚目：子どもたちも参加しての除幕。2枚目：レリーフと式の主催・共催の代表3者。右から中村大司教、レンゾ師、イエズス会日本管区長代理として出席した川村信三師(上智大学教授)。

福者カミロ・コンスタンツォ神父殉教祭が10月19日(日)、午後2時から田平教会で行われた。焼罪殉教公園での開催を予定していたが、天候不良のため公園での実施を見送った。

聖堂には平戸地区からの信徒、修道者約120人と地区司祭団が集い、中村倫明大司教司式のもと記念ミサがさげられた。

大司教は説教の中で、大事MANブラザーズバンドの『それが大事』という曲を紹介し、「曲中で『負けないこと、逃げ出さないこと、信じ抜くこと』と何度も繰り返して歌われている。私たちも福音宣教するに当たり、あきらめないこと、めげないこと、投げ出さないことが特に今の時代には大切だと思う」と語った。

十字架山殉教祭

猛暑のため、今年は10月に開催

10月26日(日) 14時、殉教祭への参加のため、50人余の信者が十字架山(長崎市辻町)に集まった。

この十字架山殉教祭は例年、浦上小教区をはじめとする長崎中地区の教会が中心となり、十字架称賛の祝日(9月14日)に近い日曜日に開催された。しかし、地球温暖化による猛暑のため、今年は従来よりも遅めの時期に開催された。

ミサは、西田祐尚師(浦上小教区司祭)の司式で、他司祭2人の共同司式で、助祭の奉仕のもと行われた。西田師は「十字架の3段の敷石は60人の男手で運ばれた。苦難をはじめとする長崎中地区の教会が中心となり、十字架称賛の祝日(9月14日)に近い日曜日に開催された。しかし、地球温暖化による猛暑のため、今年は従来よりも遅めの時期に開催された。」

島原・天草の 殉教者を記念して

主日ミサ後に式典

25年に一度の聖年を迎え、10月12日(日)午前9時の主日ミサ後、長崎北地区の巡礼指定教会となつている島原教会(主任・下口勲師)では、みことのばの祭儀形式で、島原・天草の殉教者を記念する式典を行った。



最初に殉教者をたたえる聖歌『神のわざを思い起こそう』を歌い、その後、信徒を代表して評議会長の松本美由紀さんが「迫害時代の」島原信徒代表者によるローマ教皇への手紙を朗読した。当日のミサにはタ

イミンギよく、韓国カトリック教会のシスターと信徒約30人も参加した。共同祈願では司式者が「私たちの祈りを聞き入れてくださる神よ、日本205福者殉教者、日本188福者殉教者、迫害の時代の中で働かれたあなたの手の跡を私たち一人ひとりが心に刻み込み、生きていくことがで

お知らせ 新しい祈禱書の発行時期について

「希望の巡礼者」2025聖年の実りとして準備が進められてきた新しい祈禱書の発行が、現在遅れています。

当初は今年の待降節第1主日までに発行・配布する予定でしたが、諸般の事情により工程が遅れ、各教会への今年中のお届けができない状況です。申し訳ございませんが、お届けは来年1月以降になります(11月14日時点)。ご了承ください。

カトリック長崎大司教区

牢屋の窄殉教祭

十字架行列と記念ミサ

10月26日(日) 五島市久賀島で「牢屋の窄殉教祭」が行われた。



13時、集合場所の久賀小中学校から約1kmの行程を、ロザリオを唱えながら十字架行列に始まり、行列後「牢屋の窄殉教地」において下五島地区長・中田輝次師を含む7人の地区司式団による記念ミサに臨んだ。あいにくミサの最中雨が降り出し、参列者は聖堂へ待避する中、説教に耳を傾けた。



説教を担当した山本一郎師(三井楽、貝津教会主任司祭)は、「記念碑に記されている通り、150年前ここで殉教した人々は、幼い子どもたちと高齢の方々でした。彼らは仲間の下敷きになり踏まれて亡くなり、踏んだ仲間が生き残りました。ここで迫害を受けた人たちの痛みと心の叫びを共有しましょう。それが今私たちにできる記念ミサの意義です」と語り、黙想した。

参加者は地元信徒と福江・奈留から渡った参加者合わせて110人余り。巡礼中に殉教祭を知り、参加した横浜教区信徒の姿もあった。雨の中のミサであったが、記憶に鮮明に残る記念ミサとなった。

聖マリア・トロンカッティの列聖 — 教会に与えられた新しい光

サレジアン・シスターズ
(扶助者聖母会)



10月19日(日) ローマのサン・ピエトロ広場で、サレジアン・シスターズのマリア・トロンカッティが、他の6人の福者とともに新たな聖人として宣言されました。青少年の教育と福音宣教を使命とするこの修道会の一員として、彼女は南米エ

クアドルのジャングルで、現地のシリアル族と入植者の間に立ち、和解と平和を築くためにいのちをかけて尽くしました。



看護師として体を癒やし、信仰によって心を照らした彼女は、人々から「マードレシター・ブエナ(やさしいお母さん)」と慕われました。全教会にとって、この列聖は教会に与えられた新しい光であり、神のいつくしみが今も生き働

マリア・トロンカッティ

1883年2月16日、イタリアのコルテノ生まれ。1908年サレジアン・シスターズ(扶助者聖母会)の修道女となる。22年エクアドルに派

遣、キヴァロス族のため

の宣教。69年8月25日飛行機事故のため帰天。2008年尊者の宣言。12年列福。25年10月19日教皇レオ14世により列聖。

長崎教区内の全司祭に向けて 巡礼団のミサ挙行に 関する大司教通達

11月5日付

このほど、「ある小教区でミサを行っていた巡礼団のミサが、第2バチカン公会議以前の典礼形式だった」との報告が寄せられたことを受け、中村倫明大司教は長崎教区内の全司祭に向けて、11月5日付で『巡礼団のミサ挙行依頼について』の通達を出した。

ミサ挙行についての確認

1. 背面ミサでないこと(長崎教区すべての教会の祭壇は対面ミサの形態)
2. 第2バチカン公会議以前の典礼形式のミサではないこと
3. 1962年版の Missale Romanum (ローマ・ミサ典礼書、規範版)を使用するラテン語ミサの場合は、教区内の小教区教会で行わないこと(特別に使用する場合は、長崎教区司教の許可とミサ挙行場所の指定を受けることが必要)

セブ島へ地震被災者救援活動

佐世保地区の英語ミサ共同体



フィリピンは、9月末にセブ島沖でマグニチュード6.9の地震が発生し、11月上旬には台風25号による豪雨・洪水被害を受けた。現在も各地で支援活動が続く。地震被災後、セブ島出身者が少なくない佐世保地区の英語ミサ共同体では、日々のミサ献金から支出して代表者が現地に赴き、支援物資を届けた。10月11・13日までセブ州メデリン、14・16日までダバオ・オリエンタル州マナイを訪れた代表者アルフォンソ・ハイメさんからの報告を掲載する。

メデリン、セブ、およびダバオ・オリエンタル州マナイで発生した地震の影響を受けた家族に対し、食料支援物資と医療支援を提供する救援活動が成功裏に実施されました。

この活動の主たる目的は、困っている人々に希望と支援を届けることである。この活動の目的は、困っている人々に希望と支援を届けることである。この活動の目的は、困っている人々に希望と支援を届けることである。

カトリック教会のカテキズム(CCC309)に述べられているように、神の愛は苦しみの中でもなお存在し続け、苦しむ者たちに希望を与えます。さらに、信者たちは「地の塩」であり「世の光」となる使命を思い出さ

バチカンで映画上映 『長崎―閃光の影で―』

原爆投下から80年の今夏に全国公開された映画『長崎―閃光の影で―』が10月31日、バチカンで上映された。本作品の監督・脚本を務めたのは、被爆3世であり、長崎・時津教会出身の松本准平さん。上映を終えてあらためて感じた思いを寄せていただいた。



長崎原爆を描いた『長崎―閃光の影で―』が50席ほどの映写室の席はほぼ満席となり、上映前に、駐バチカンの千葉大使と酒井司教に続いて、私もあいさつをしました。私は長崎のゆかりのある聖人で、自分の霊名でもあるコルベ神父について言及し、取り次ぎを願いました。「コルベ神父こそ自分をこの作品に導いた存在の一人である」ことを述べると同時に、本作の主人公である看護婦たちの愛のわざにこそ、注目していただきたいと思ったからです。

翌日は諸聖人の日、その翌日は死者の日でした。亡くなられた被爆者の方々、そして全世界の戦争死没者のために祈り、本作がいづも彼らを思い起こさせるものとなるようにと願います。

映画監督 松本准平



11月死者の月、赤城墓地で聖職者追悼ミサ



死者の月、11月4日(火) 11時から赤城墓地で長崎教区聖職者追悼ミサが行われた。中村倫明大司教の主司式のもと、司祭と信徒ら合わせて約70人が集まり、ともに祈りをささげた。説教師を務めた川原拓也師(長崎北地区長)は、「貧しい者となり、病人や苦しんでいる人に歩み寄り、人々と共に生きたイエス。亡くなられた司祭たちも、それぞれのやり方で、イエスからの召命の道を歩んだ。私たちもその後に続いていきたい」と語った。

秋期司祭研修会

11月4日(火) 13時から、大司教館を会場にリモートも用いて実施。参加司祭らは、主任司祭として記載し管理すべき書類や、小教区と自己の財産管理について、記載の実習も交えて研修した。

感謝

― 香典返し ―
長崎大司教区
● 平田哲也様(浦上)
故マリア平田榮子様
右の方からご寄付・ご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

奉獻生活者とともにささげるミサ

テーマ 「神のあかし人になろう」
日時 2026年1月31日(土) 午後2時
場所 カトリック城山教会 聖堂
司式 中村倫明大司教
申込方法 奉獻生活者の皆さんは、下記連絡先にメールまたは電話で代表の方が各教会からの参加者数をお知らせください。他の皆さんは、教区ホームページのご案内から Google フォームまたは電話でお申し込みください。
申込締切 2026年1月10日(土)
連絡先 聖アウグスチノ修道会 松尾 太
メール futoshi.osa@gmail.com
電話 095-844-9208 (城山教会)
* 奉獻生活者だけでなく、どなたでも参加できます。
* ミサ後に茶話会があります。ぜひご参加ください。
主催 長崎でともに歩む奉獻生活者たち

6年ぶりの球技大会

再会喜ぶ平戸地区の人々

平戸地区球技大会が10月26日(日)に開催され、ソフトボールは紐差にある平戸市市民運動場で、グラウンドゴルフは紐差小学校で行われた。ソフトボールには6チーム、グラウンドゴルフには5人一組の24チームが参加。午前8時に集合し、開会式(写真)の後、試合が開始された。

6年ぶりの地区大会だったので「やあ!久しぶりね」とか「元気にしちよったか」などの声があちらこちらから聞こえ、久しぶりの再会を喜ぶとともに親睦を深める良い機会となった。(平戸地区)

小教区親睦ソフト大会

交流深まる上五島地区の人々



ソフトボールの会場には応援団も含め100人ほどが集い、グラウンドゴルフの会場には同じく200人ほどが集った。どちらの会場も熱戦を繰り広げたが、対戦の結果ソフトボールは紐差教会B

加する人だけでなく、応援に来てくださった方も多くおり、たくさんの方の援とにぎわいのもとに楽しく大会が行われた。公園の中の2つの球場をさらに2つに分けて計4カ所、3チームごとの総当たり戦があり、勝ち抜いたチーム同士での準決勝、そして決勝戦が行われた。決勝戦は桐小教区と丸尾小教区、18対2で桐小教区の優勝となった。

それぞれの小教区同士の交流だけでなく、同じ小教区内での交流も深まっていく、そのような大会となった。(上五島地区)



10月26日(日) 早朝から、上五島地区小教区親睦ソフトボール大会が有陸ソフトボール大会が行われた。川運動公園で行われた。上五島地区の11小教区、ならびに青砂ヶ浦小教区の冷水教会からも1チーム出て、計12チームの参加となった。

ソフトボール大会に参加

大司教館事務所 業務時間のご案内

《住所》カトリック長崎大司教館内
〒852-8114 長崎市橋口町1番1号

【1階】
総合受付 日～土曜日 毎日 08:00～18:00
電話 095-843-4188 (代表)
FAX 095-843-4322

法人事務所(会計事務室) 日曜日は休み
祝祭日を含む月～土曜日 08:30～17:30
電話 095-846-4248 FAX 095-848-8310

【2階】
教区本部事務局・諸委員会 土・祝日は休み
日～金曜日 08:30～17:30
電話 095-842-4450 FAX 095-842-4460

生涯養成委員会 日・月・祝日は休み
火～土曜日 08:30～17:30
電話 095-841-7731 FAX 095-842-4460

広報委員会 土・日・祝日は休み
月～金曜日 08:30～17:30
電話 095-843-3869 FAX 095-842-4460

(2025年4月から)